

ケアマネジャー、サービス事業所の皆様

地域介護を考える親睦会

摂食嚥下障害患者を多面的視点で、
多職種・多事業所で支える

2025年4月30日(水)

日時：2025年4月30日(水) 18:00～19:00

講師：近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 院長）

開催方法：オンライン（Zoom）

参加費用：無料

講義資料：当院HPにアップします。（DL用パスワード：TBRccsbk）

※複製・転載等の二次利用は控えください。

申込期限：2025年4月27日（日）

摂食嚥下障害に対する対応は、口腔・咽頭に対する治療やリハビリテーションだけではありません。

①姿勢、②介助方法、③食器、④食事形態、⑤味覚、⑥口腔ケア（衛生管理）、⑦身体機能、⑧薬剤、⑨免疫力、⑩栄養、⑪咳嗽力（吸引）、⑫経管栄養管理、⑬経済・ケアプランなど多種、多面的な障害に対応する必要があります。これらに対して、在宅では医療職だけでなく、家族、ケアマネジャーや介護福祉士、介護職など非医療職が主体となって協働し、多事業所が協働する必要があります。また、入院から対応を在宅へシームレスに移行するためには家族指導に加えて医療機関と介護事業所との情報共有を含めた地域連携も重要となります。

今回は、摂食嚥下障害に対する多面的対応の実際と地域連携について述べさせていただきます。

東京湾岸リハビリテーション病院 医療福祉相談室 / 宮坂・渡邊

☎ 047-453-9019

✉ msw-tbr@wanreha.net

お申し込みはこちら ▶

